

4月23日 復活節第2主日

## 復活したキリストに出会う

ヨハネによる福音書 20章 19～31節

<sup>19</sup> その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。<sup>20</sup> そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。<sup>21</sup> イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」<sup>22</sup> そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。<sup>23</sup> だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

<sup>24</sup> 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。<sup>25</sup> そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」<sup>26</sup> さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。<sup>27</sup> それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」<sup>28</sup> トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。<sup>29</sup> イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

<sup>30</sup> このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。<sup>31</sup> これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

他の朗読：使徒 2:42～47 詩編 118:2～4, 13～15, 22～24 Iペトロ 1:3～9

### Lectio …読む

4つの福音書の中で私たちは、弟子たちと復活したキリストとの数多くの出会いの記述を見ることができます。教会の全ての信仰は、イエスの十字架の死を目撃し、その後、復活したイエスに出会った人々の証言に基づいています。使徒パウロは、コリントのキリスト者たちの間の疑いに対してイエスの肉体的な復活を強く擁護しています (Iコリント 15章)。

イエスの復活は、それまでのイエスご自身の言葉や行いの全てが間違っていなかったことを確信させました。それはまた、神の子イエスへの弟子たちの信仰を確かなものとしたのです。

イエスが他の弟子たちに現れたとき、トマスはその場にいませんでした。そのため他の弟子たちの証言を受け入れようとしません。トマスは自分自身で復活したイエスを見、彼の傷に触りたいと思います。イエスはトマスのわがままな条件を快く受け入れ許します。もちろんイエスは、信仰の賜物や神の言葉の証しを通して、毎日「私たちはイエスが死に、そして復活したことを信じます」と信仰宣言する他のキリスト者たちの純粋な証しによってイエスの復活を信じる、多くのキリスト者たちも心に留めています。

この箇所ではイエスはまた、人々を神との正しい関係に立ち帰らせ、「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」と言って、神の国の掟を広めるイエスの使命を受け継ぐ権

限を弟子たちに与えます。このあとすぐに、聖霊の賜物が続きます。

この箇所は信仰の明らかな宣言で終わります。本当の命は、イエスへの信仰を通してのみ生きることができなのです。

## Meditatio …黙想する

あなたは、復活したキリストに出会い、キリストの主権と神性を受け入れましたか。どのようにしてイエスをあなたの主、あなたの神として受け入れるようになりましたか。

あなたのイエスへの信仰は単に形式的な、あるいは知識的なものになってはいないでしょうか。あなたのイエスへの信仰は、毎日の生活にどのような影響を与えているでしょうか。

イエスがあなたを遣わしたのは、何をするためだと感じていますか。その中で聖霊はどのような役割を果たしていますか。

## Oratio …祈る

祈りの内に、あなたの生活を神にささげてみましょう。特に神の主権を認めるのが難しいと思う部分をささげましょう。どのような生活の部分であっても、神に差し出すときに「イエス、わたしの主、わたしの神よ」という言葉を祈りましょう。

## Contemplatio …観想する

この箇所の中でイエスは弟子たちに3度、「あなたがたに平和があるように」と言っています。この言葉はわたしたち皆に必要なものです。神の平和は私たちの心と思いとを守ります（フィリピ4章7節）。時間をかけて、神の平和によって新たにしていきたいと思います。